



ICTがもたらすもの①

ICTの日常的・効果的活用を推進していますが、それが子どもたちにもたらすものは何でしょうか。

右の写真はおひさま学級のすてきな光景です。健康観察とでも言いましょうか。自立活動の一つで、自分の今日の心の状態を見つめ、それをタブレットで表現し、数値や顔マークやレベル（点数）で視覚化したものを、電子黒板で表示し、発表したり質問したりして、友達のこととも共有し、知り合っていく活動でした。

自分を見つめ表現する力や、友達と共有し、知り合いながら繋がっていく力を効果的に高めてくれる。 ICTがもたらすものの一つです。



和気香風

ICTがもたらすもの②

もう一つ、おひさま2教室の様子から。

電子黒板に大きく映し出された国語の教材文。スピーカーから教材文の音読音声流れ耳で聞くことができると同時に、読んでいる段落が色塗りされて表示されるので、目でも文章を追うことができます。

また、タブレットの音声認識機能を使えば、キーボードを使わなくても、子どもの音声で作文を書くことができます。

まさに**個のニーズに応じた個別最適な学習を支えてくれる**のがタブレットです。

さらに、ドリルソフトを使って、何度も学習を重ねれば、タブレット上でポイントやメダルをたくさんもらえます。ゲーム感覚で**楽しく学習を重ねることができ**、メダル等のうれしい評価をゲットして**「できた」「やったー」という満足感を手にし**、その継続により**基礎・基本の力を定着**させていくことが期待できるのもタブレットの効果としてあげられます。



1年生が喜んでくれて大成功～おもちゃまつり～

2年生が1年生を招待して、「おもちゃまつり」を開きました。そこには、これまでにしっかりと準備された「手作りのおもちゃで楽しむ場」がいくつも設置されていて、楽しみ方をていねいに、わかりやすく説明する姿がありました。1年生は、各ブースに列を作って並び、工夫されたおもちゃを楽しみ、笑顔でいっぱいでした。

2年生に感想を尋ねると「やってよかった!」と返ってきたので、さらに理由を問うと、「1年生が喜んでくれたからよかったです。」「1年生が・・・。」「1年生が・・・。」と、**1年生の笑顔を生み出したことへの喜び**が相次いで出てきました。

心の中に1年生のことを思い、精一杯頑張り、やり通した2年生の表情も、それはそれは**晴れ晴れ**としていて、**笑顔でいっぱい**でした。

